

宮田守男 フィールド風 (現場)からの

11月初旬にウイング
21で開催された第54回
白馬村文化祭に出展さ
れた作品を鑑賞する。
展示された内容から文
化と共に生きる村民の
姿を垣間見る事がで

き、また福祉関係の展
示には、私たちを取り
巻く福祉の現状を知る
機会となった。サミュ
エル・ウルマンの青春
で「人は信念とともに
若く、疑念とともに老
いる」「人は自信ととも
に若く、恐怖とともに
老いる」「希望ある限り
若く、失望とともに老
い朽ちる」と。人の精
神的な若さは年齢では
なく、態度で決まる
と。

最近「恥ずかしい」
との感覚が薄れてきた
との声を聞く。社会の
常識と思われる事柄を
知らなかった時、ため
らいもなく「知らない
」と答える人がい
る。仕事をする上で基
本的な技術なのに、平
気な顔で「できない」
と答える人がいる。だ
からこそ大勢の地域の
皆さんが出展され「さ
らに精進します」との
想いが積み重なってこ
そ地域文化がより魅力
になる「信
じたい」。

精神的な若さが大切だ

今年20
25年用の年賀はがき
が全国一斉に発売され
た。だが10月から、手
紙は84円から110
円、はがきは63円から
85円に。消費税増税時
を除くと30年ぶりに値
上げされたが、今回の
値上げでも果実を維持
できるのは1年間だけ
だという。

日本最初の切手は1
871年に発行された
銅版彫刻師とされた松
田敦朝の「首門切手」
で、値段は「錢四十八
文」。当時そば1杯が
15文程度というから現
代なら1000円近く
記憶だが、将来値上が
りを期待した切手は10
円・15円・20円の額面
切手が多く今回の値上
げで買い取り価格も額
面以下と査定されると
の話が聞えてくる。切
手として使用するには
110円分貼る手間も
惜しくな
る。



文化祭に出展された三浦洋二さんの「四神獣」。西を護る「白虎」と西に連なる「白馬連峰」。同じ「白」に想いが馳せる。

ある高齢者にとって大
切、つながりを絶つ
と、つながっていた
かった人とも切れてし
まう」と指摘する。年
賀状に悩む時代に生き
ているのだ。
(信州地域社会フォー
ラム会員・白馬村森上)